

医学研究に関する情報公開および研究協力へのお願い

静岡がんセンター病理診断科では、臨床研究審査委員会および病院長の承認を得て、下記の医学研究を実施しています。こうした研究では、対象となる方に関して既に存在する試料や情報、あるいは今後の情報や記録などを調査しますが、対象となる方にとって新たな負担や制限が加わることは一切ありません。このような研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。ご自身の情報や試料を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、以下の「問い合わせ窓口」にお問合せください。研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありませんのでご安心ください。

【研究課題名】胆管内管状乳頭状腫瘍の肝内進展様式-病理学的解析を中心に-

【研究期間】福井県済生会病院 臨床研究審査委員会承認日～2027 年 3 月 31 日

【研究の目的】肝内胆管癌は、依然として難治性癌であり、早期発見、また病態に対応した治療法の選択が望まれます。肝内胆管癌の前癌病変として、肝内胆管内に発生する、肉眼的に同定される胆管内乳頭状腫瘍、胆管内好酸性乳頭状腫瘍、それに胆管内管状乳頭状腫瘍が報告されています。これらの中で、胆管内管状乳頭状腫瘍の発生、進展経路に関しては不明な点が多く残されています。本研究では、胆管内管状乳頭状腫瘍を病理学的に検討し、その病態、進展経路を明らかにすることを目的としています。この研究は、胆管内管状乳頭状腫瘍の進展経路、肝内胆管癌への移行を明らかにする基礎研究です。

【研究の内容】

1. 研究の対象となる方

西暦 2002 年 7 月 1 日から、西暦 2025 年 5 月 31 日の間に、肝内胆管がんおよび胆管腫瘍の外科的治療を受けた方。

2. 研究に用いる試料・情報

治療のため、外科的に切除された肝内胆管癌および胆管腫瘍のホルマリン固定パラフィン切片の染色標本を顕微鏡で観察する。ホルマリン固定で保存されている外科的切除材料を肉眼的に観察する。

3. 試料・情報の他の研究機関への提供および提供方法

他の機関への試料・情報の提供はありません。

4. 利用又は提供を開始する予定日

なし

5. 外国への試料・情報の提供

なし

【共同研究機関及び研究責任者】

1. 研究代表施設および研究統括者

福井県済生会病院病理診断科 中沼安二

2. 共同研究施設等およびその研究代表者

静岡がんセンター病理診断科 角田優子

【当院における研究責任者】

静岡がんセンター病理診断科 角田優子

【本研究に関する問い合わせ窓口】

○問い合わせ窓口

〒411-8777

静岡県駿東郡長泉町下長窪 1007 番地 静岡がんセンター 病理診断科 角田優子

電話：055-989-5222（代表）